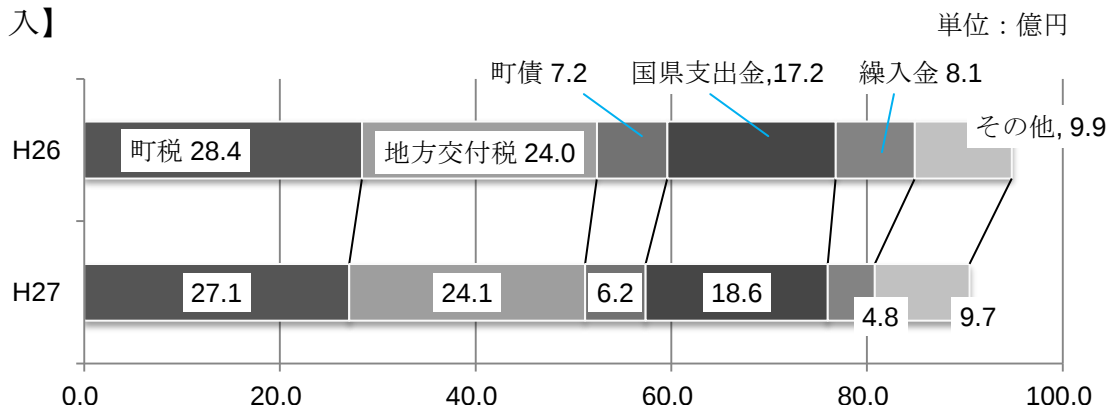


I 平成 27 年度金ヶ崎町一般会計の決算及び今後の課題について

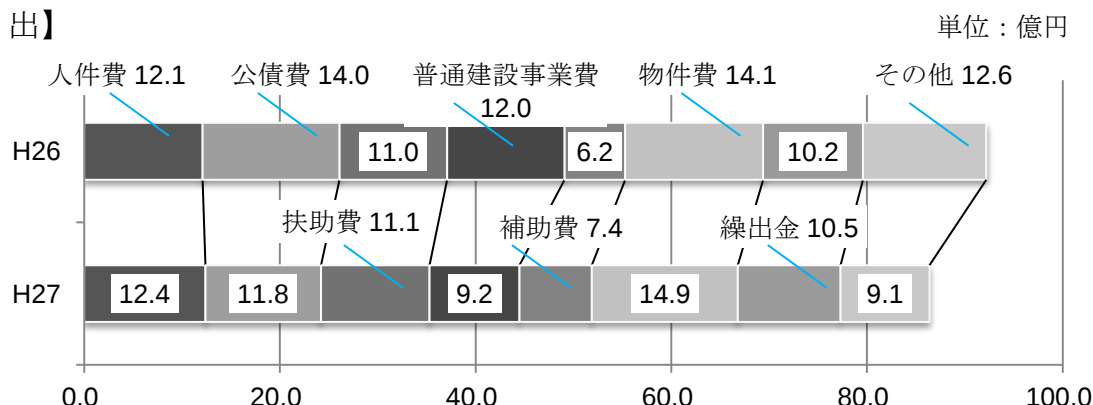
1 平成 27 年度一般会計決算の概要

【歳 入】



法人町民税の減により町税が 1.4 億円減少しました。また、平成 25 年度の法人税割減の影響を受け減少見込みであった地方交付税が前年度並みであったことから、基金繰入額を抑制した結果、繰入金が減少しました。このほか、社会保障・税番号制度関連及び地方創生に係る補助金により国県支出金が増加しました。

【歳 出】



計画した起債の繰上償還が完了したため、公債費が大幅に減少しました。土地開発公社解散に伴い、その他に含まれる貸付金が大幅に減少しました。このほか、森山総合公園野球場改修工事や金ヶ崎要害歴史館建設工事が平成 26 年度に完了したことに伴い、普通建設事業費が減少しました。

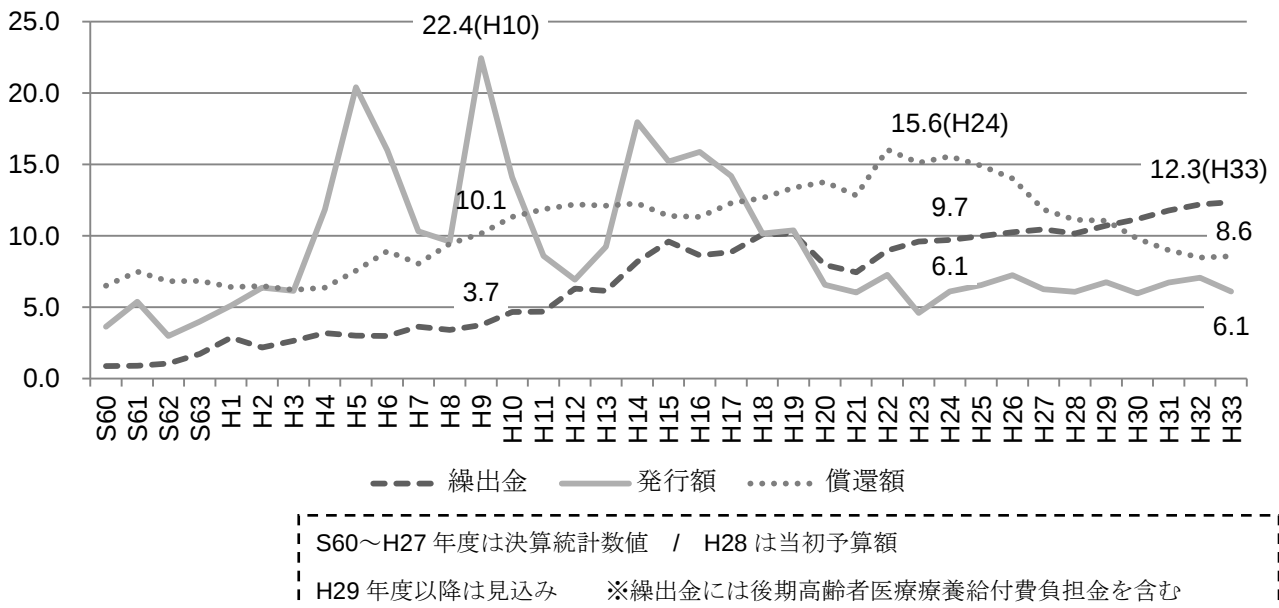
このほか、主な事業は次のとおりです。

【主な事業】

- ・新町誕生 60 周年記念事業
- ・社会保障・税番号制度発足に伴う電算システム改修事業
- ・地方版まち・ひと・しごと創生事業
- ・荒巻・東町線拡幅整備事業
- ・駒丘除雪センター建設及び除雪機械更新
- ・六原地区基盤整備事業
- ・利用自粛牧草処理円滑化事業
- ・多面的機能支払交付金事業
- ・和光地区消防屯所建設
- ・北部地区生涯教育センター屋根改修工事及び体育館耐震補強工事
- ・三ヶ尻幼稚園屋根塗装工事
- ・遠谷巾地区の通学バス更新

2 金ヶ崎町の現状と今後の課題

【昭和 60 年度以降の地方債発行額、償還額及び繰出金の推移と見通し】

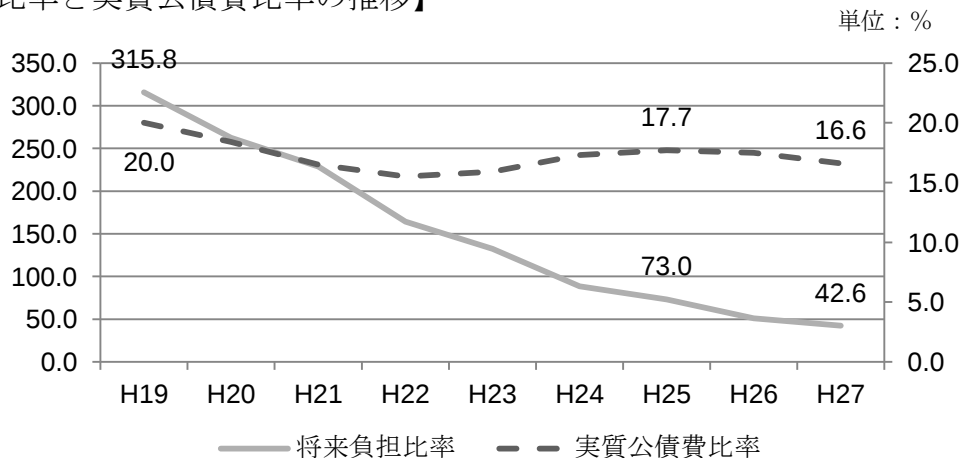


【現状と今後の課題】

- 公債費は、計画していた繰上償還が完了しました。これに伴い将来負担比率は 42.6% と大幅に減少しました（平成 19 年度 315.8%）。今後も減少していく見込みです。
- 繰出金は、病院の診療所化に伴い 7.4 億円（平成 21 年度）まで減少しました。その後、高齢化に伴う社会保障費の伸び及び下水道事業等への支援により増加しています。
- 当面の間は、繰出金の増加を財政健全化の成果による公債費の減少により吸収できる見込みです。いかに繰出金の増加を抑制するかが今後の課題となっています。

3 財政健全化判断比率の推移

【将来負担比率と実質公債費比率の推移】



実質公債費比率は今後減少する見込みです。